

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成26年2月27日(2014.2.27)

【公開番号】特開2012-73994(P2012-73994A)

【公開日】平成24年4月12日(2012.4.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-015

【出願番号】特願2011-14940(P2011-14940)

【国際特許分類】

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/41 (2006.01)

H 0 4 N 19/60 (2014.01)

G 0 1 N 21/17 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 1/00 3 1 5

H 0 4 N 1/41 B

H 0 4 N 7/133 Z

G 0 6 T 1/00 2 9 5

G 0 1 N 21/17 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年1月9日(2014.1.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 1】

図1に示されるように、画像処理システム100は、バーチャル顕微鏡101、3D-DCT(3 Dimensional - Discrete Cosine Transform)符号化装置102、ストレージ103、トランスコード装置104、およびクライアント端末装置105を有する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 2 2 1】

ステップS261において、判定部261は、ステップS229において抽出されたブロック毎の2D-DCT係数データのブロックサイズが8×8であるか否か(すなわち、DCT_SIZE_X=8であり、かつ、DCT_SIZE_Y=8であるか否か)を判定する。DCT_SIZE_X若しくはDCT_SIZE_Y、またはその両方が「8」でないと判定された場合、判定部261は、処理をステップS262に進める。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 5 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 2 5 0】

【JPEG符号化装置の構成】

図23は、図22のJPEG符号化装置302の主な構成例を示すブロック図である。図2

3に示されるように、JPEG符号化装置302は、2D-DCT部321、量子化部322、および符号化部323を有する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0259

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0259】

JPEG符号化装置302の2D-DCT部321は、ステップS301において、バーチャル顕微鏡101等より供給されたZ STACK画像の各フォーカス面画像に対してブロック毎に2D-DCTを行う。ステップS302において、量子化部322は、各ブロックの各2D-DCT係数データを量子化する。ステップS303において、符号化部323は、量子化された各ブロックの各2D-DCT係数データをランレンジス・ハフマン符号化する。ステップS304において、符号化部323は、生成した各ブロックの各2D-DCT符号化データを短期保存用ストレージ303に供給し、短期的に保存させる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0287

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0287】

例えば、DCTブロックサイズ変換部351が、処理速度の高速化が優先される場合、ブロックサイズを変換せずに（例えば 8×8 のまま）2D-DCT係数データを1D-DCT部343に供給するようにし、符号化効率の向上が優先される場合、ブロックサイズを（例えば 32×32 や 64×64 に）変換するようにしてもよい。

【手続補正6】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図22

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図22】

図22

